として、主に子どもが対象のA類疾病と高齢者が対象のB類疾病、市独自で助成を行なっている「任意接種」に分かれている。

令和7年度の接種予定人数に対する接種率は、A類疾病66・5％、B類疾病89・8％、任意接種64・0％となった。接種率が低い要因として接種忘れや副反応に対する懸念等がある。接種忘れを防ぎ正しい情報を伝えるためにも、個別通知のほかSNSを活用した接種勧奨に努めていく。

土木費

◎道路維持費

【質疑】市民からの要望にはどれくらい応えられたのか、また予算が足りずに対応できなかった要望、先送りとなったものはどのようなもので、何件あったか。

【答弁】令和7年度は約360件の要望があった。このうち予約の制約により25件の要望が未対応となっており、具体的には区画線、安全施設の設置、側溝の修繕、側溝の蓋の設置や支障木の伐採などである。

◎河川浚渫（しゅんせつ）事業

【質疑】事業成果と各地区の要望等を踏まえ、今後の事業推進と課題は。

【答弁】しゅんせつ工事を実施することにより、降雨時の水位上昇の抑制が図られると認識している。現在までに市が管理する21河川について緊急しゅんせつ推進事業や維持管理によるしゅんせつを実施してきたが、よだれ川など5河川は、しゅんせつが未実施のため早急な対策が必要である。今後もしゅんせつが必要と判断される河川については、土砂堆積状況を注視しながら計画的に対策を実施していく。

農林水産業費

◎森林経営管理推進事業

【質疑】地域林政アドバイザーの雇用および委嘱実績により、今後見込める森林・林業行政の展望は。

【答弁】森林経営管理制度の本格的な運用や森林環境譲与税の有効活用が求められる中、専門的な知識や経験を持つ技術職員の不足や定期的な人事異動を伴う継続性の確保が大きな課題となっている。こうした課題を解決し、適切な森林管理を推進するため、森林環境譲与税を活用して、地域林政アドバイザーを雇用・委嘱している。地域林政アドバイザーを配置することにより、適切な管理がなされていない森林の集約化や施業を進めているところである。

今後も専門知識と高い現場力を「即戦力」として最大限に活用し、森林の多面的な機能の維持発揮と、地域林業の振興を進めていきたいと考えている。

商工費

◎白石スキー場運営事業

【質疑】令和6年度よりも令和7年度の入込数が増加しているのに、売上金額が伸びていない要因は。

【答弁】これまで入込数は一日ごとに運行したリフトの総乗車人数を10で割る計算方法で算出していたが、近年は2～3回しかリフトを利用しない初心者層の増加、ソリなどの雪遊びのようにリフトを利用しない方が増加するなど、利用方法が多様化している。

これらを踏まえ、令和7年度シーズンから入込数の算出方法を見直し、総乗車人数を7で割る計算に変更したことが、入込数が数値上増加した要因と考えている。

【質疑】第2リフト設備更新工事について、令和7年度に更新した実際の工事内容について、また令和8年度に予定している工事内容、工期等は。

【答弁】老朽化した装置を更新し、安全にスキー場運営を行うため令和7年度と8年度の2年間に渡り実施しているもの。

令和7年度は索受装置関係の更新を行い、本年度はモーター、減速機、制御装置などの更新と、搬器にセフティーバーの取り付けを行う計画で、10月に運輸局の検査、12月上旬には市の完成検査を予定しており、スキー場のオープンに向けて工事を進めている。

◎消費者行政事業

【質疑】前年度比で消費生活相談件数の増加と啓発活動の成果についての分析と、今後の事業推進は。

【答弁】令和7年度の相談件数は、前年度から29件増加し、相談内訳は通信販売と店舗販売に関する相談が大きく増加している。啓発活動として実施した出前講座では、最近の特殊詐欺や悪質商法の傾向、対処法などを紹介し、受講者からは「誰にでも起こり得ることだとわかった」「相談窓口